

鳥獣被害対策アドベンチャー フィールドワーク開催報告

フィールドワーク開催7エリアのうち、
東北 関東 東海
北陸 近畿 中国四国 九州

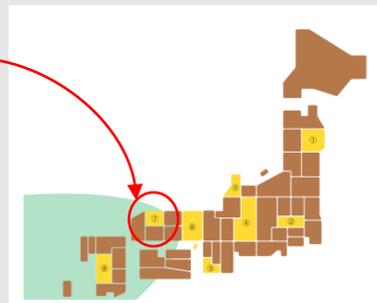
日時 令和7年2月1日～2日(2日間)

場所 島根県松江市

受入先 合同会社式百円
<https://nihyakuyen.com/>



受入先(合同会社式百円)QRコード



参加者の声

- ・ 免許を持たない自分にとって、ハンターの方が実際に使用されている道具をどのように用いていらっしゃるかを知れたことが一番の学びでした。そして交流会でお話させていただいた皆様がどのような視点で鳥獣被害を考えていらっしゃるかを知れた事も学びになりました。
- ・ ネットには多くの狩猟の情報がありますが、その土地に適したものかよく分からず、混乱することがあります。今回のように実際に現場を見て、新規参入の若者が奮闘し、苦悩しつつ進めている状況を解説していただくことで、リアルな現場理解が深まりました。今回の研修で学んだことを活かせば、自分の地域の状況に応じた対応が可能になると思いました。特に射撃場であのような体験はできないので貴重でした！



フィールドワークスケジュール

DAY1 2/1(土)

ガイダンス

13:00～13:20

各参加者の自己紹介を行った後、受け入れ先より松江市の鳥獣被害対策・ジビエ利活用の取り組みについての説明を受けました。



体験フィールドワーク

14:00～15:00

松江市猟友会より、罠の設置手法に関する説明を受けました。



フィールド散策

15:00～15:45

鳥獣の生息地に入って、鳥獣被害を確認し、罠の設置見学、カメラの設置手法などについて解説を受けました。



座学研修

16:30～17:30

地域の鳥獣被害状況やジビエの活用など、それぞれの視点から行っている獣害対策と活用について説明を受けました。



DAY2 2/2(日)

体験フィールドワーク

9:30～11:00

前日に設置したくくり罠の見回りをを行い、日々の見回り時の注意事項など説明を受けました。終了後、道中で箱罠に捕獲された状態のイノシシを発見し、見学を行いました。



食肉処理施設見学

11:00～13:15

食肉解体施設を訪問し、イノシシの解体や保存方法などに関する解説を受けました。
※2組に分かれて、ローテーションで昼食。



クレー射撃場見学

13:15～14:10

銃の取り扱い時の注意事項や操作方法などの解説を受けた後、模擬銃の射撃体験を行いました。

